

社協だより

2017.11.22

84号

雫石町社会福祉協議会

～誰もが安心して暮らすことができる福祉のまちづくり～

いざ勝負!!
勝敗の行方はどちらかな♪



も く じ

- ◆出前講座 2～3 P
- ◆第70回岩手県社会福祉大会 4 P
- ◆第41回雫石町社会福祉大会
新年交賀会お知らせ 5 P
- ◆民生委員制度創設100周年記念
岩手県民生委員児童委員大会 5 P
- ◆平成29年度赤い羽根
共同募金運動報告 6 P
- ◆生活福祉資金のご案内 6 P
- ◆西山保育園だよりVOL.21 7 P
- ◆まちの福祉 8～9 P
- ◆お知らせ 10 P

表紙写真：西根小学校で開催された福祉教育出前講座『祖父母交流会』でレクリエーションを行った際の一枚です。

ジャンケン列車では『どちらが勝ったの?』と楽しそうな声が体育館中に響きわたりました。詳しくはP 2・3をご覧ください。



社協が地域との「かけはし」になります！

ご存知ですか？『福祉教育出前講座』



ジェスチャーゲーム「言葉を使わないってムズかしいね。」



「クロスロードゲーム」話し合った結果を発表しました。

雲石町社会福祉協議会（以下、「社協」）では、昨年度まで『ボランティア協力校』として、申請のあった町内の幼稚園・保育園（所）・小中学校・高等学校へ事業費として、助成を行ってまいりましたが、昨今の教育現場での業務の量の多さ、忙しさを検討し、今年度から『福祉教育出前講座』と事業名と事業内容を一新し実施しているものです。

この事業では、幼児教育、学校教育における様々な学習時間での福祉プログラムの企画から、講師の紹介等、教育現場の様々な相談に応じ、現場のサポートを行っております。

また、『世代間交流事業』と『出前講座』の二つから構成されており、

申請から実施までの流れ

- ① 社協へ電話もしくは来所
*日程が決まっている場合は、30日前にご相談願います。
- ② 依頼内容を受けて、日程やプログラム内容の提案・相談
- ③ 申請書提出
- ④ 依頼内容にあった関係機関や講師との連絡調整
*社協職員がコーディネートします。
- ⑤ 打合せ
*社協職員が学校へ向きます。
- ⑥ 本番当日

それぞれの教育現場で必要とされるプログラムを選択することができ、申請方法も簡単で（左図参照）、事業にかかる経費も無料であることから、今年度、利用された学校からは好評の声を頂いております。

突撃インタビュー

お二人に伺いました！



雲石中学校3学年主任
尾藤 文則 先生



雲石中学校3年
上田 菜菜 さん

- 〔社〕福祉教育出前講座を申請するまでの手続きや打合せはいかがでしたか？
- 〔尾〕社協の方が打合せ等、学校に出向いてくれるので良かったです。
- 〔社〕実際に、『出前講座』を体験している生徒さんを見ての感想は？
- 〔尾〕生徒たちは、予想外に真面目に話し合っていました。それでも中には、議論が深まらないグループもあって、そこに大人たちの介入の仕方によって生徒たちの議論が大きく変化することも実感しました。
- 〔社〕今後も『出前講座』を活用したいですか？
- 〔尾〕活用したいですね。社協独自の教育プログラムは豊富なアイデアがあるように思っているのでも期待しています。
- 〔社〕最後に『出前講座』のおすすめポイントを教えてください。
- 〔尾〕教師が「指導者」や「評価者」ではなく、「観察者」となることができる貴重な機会なので、他の学校でもお勧めします。
- 〔上〕自分たちより弱い立場の方（高齢者・障がい者・幼児等）をサポートする所だと思っていました。
- 〔社〕上田さんが今まで体験したことのある福祉体験はありますか？
- 〔上〕小学生の時は、歳末助け合い募金活動に取り組みましたし、中学生になってからは、介護施設や保育所での福祉体験学習に参加しました。
- 〔社〕『出前講座』を体験する前と体験した後で変化はありましたか？
- 〔上〕災害について関心が高まりました。クラスの中でも、台風や大雨の気象情報について話題になることが多くなりました。
- 〔社〕『出前講座』を体験してみた感想を教えてください。
- 〔上〕自分の命を守ることによって他の誰かの助けに自分になれるということを学びました。普段から自分のことだけでなく、周囲の人へ気遣う気持ちをもって生活していこうと思いました。

『世代間交流事業』

（西根小学校）



人間知恵の輪「みんなとたくさんふれあいました。」

全校生徒（43名）と祖父母を対象に、9月15日（金）の祖父母参観時に「思いやりの心を育てる」ことを目的に簡単にできる企画を考えてもらいたいという相談があり、社協では、普段、おじいちゃん、おばあちゃんと手をつなぐ機会が少なくなっていることから、『じゃんけん列車』『人間知恵の輪』『ジェスチャーゲーム』を通して、身体も心もふれあい笑えるゲームを紹介し、職員派遣を行いました。

参加された祖父母の方々からは、「久しぶりに孫と手を繋いで嬉しかった。」「孫の笑顔を見てホッとした。」「との声を頂き、小学生からは「おじいちゃん、ジャンケン強くてすごかったよ。」と楽しい時間を過ごしてもらったことができました。」

『出前講座』

（雲石中学校）



「こんな時どうする？」真剣な表情で話し合い。

三学年143名を対象に8月30日（水）に自然災害に対しての心構えと対応するスキルを学び、「守られる側」から「他者を守る側」にステップアップする時期でもある中学生に災害を身近な問題として考えてもらうことを目的に、大雨災害を想定した『クロスロードゲーム』（重大な分かれ道ゲーム）を実施しました。

今回の出前講座では、社協職員の他に、8名のスタッフへ社協が協力要請を行い実施し、2013年の雲石町豪雨水害の映像記録を視聴後、グループに分かれてゲームに挑戦し、発災時にどんな行動を取るか、お互いの価値観を共有して、自分や周りの人の命を守るための手法を考えてもらう講座となりました。

第41回 雫石町社会福祉大会

【日時】平成30年1月14日(日) 13時～15時 (12時30分から受付)

【場所】雫石町中央公民館 野菊ホール

大会日程
12:30 / 受付開始
13:00 / 式典
14:00 / 記念講演
15:00 / 大会宣言の採択

テーマ 誰もが安心して暮らすことができる福祉のまちづくり

本大会は、町内の社会福祉に関心のある人々が一堂に会し、みんなが支え合い一人ひとりが輝ける地域づくりを目指し、住民一人ひとりが住みなれた街で安心して生活できる地域づくりの推進に向けて、社会福祉のあり方について共通理解を深めます。また、これまで社会福祉の向上に尽力され、多大な功績を残された方々を表彰し、当町の社会福祉の一層の発展に資することを目的として開催します。

記念講演 『笑う地域に福来たる！ 笑いは人間関係の潤滑油！！』

講師／フリーアナウンサー 上野 泰夫 氏

プロフィール

- ・民放局時代、「ズームイン朝」をはじめ、アナウンサーとして数々のラジオ、テレビ番組を担当。軽妙な語り口と豊富な話題が評価されて「日本テレビ系列アナウンス賞」を受賞。
- ・日本笑い学会『笑いの講師団』の全国講師を務め、県内外で講演しているユーモア話術コンサルタント。



※ 本大会終了後、町内福祉関係機関及び福祉関係団体と連携を図ることを目的として、新年交賀会を開催します。
なお、招待者には、当会から個別に案内をさせていただきますので、予めご了承ください。
【問い合わせ先】町社会福祉大会実行委員会事務局 TEL: 019-692-2230 担当: 外村・澤口

民生委員制度創設100周年記念 岩手県民生委員児童委員大会

平成29年8月24日(木)、民生委員制度100周年を記念した岩手県民生委員児童委員大会が岩手県民会館で行われました。

式典後、こころ元気研究所の鎌田敏(かまたびん)氏より、「地域の絆、みんなの笑顔、笑顔に分かち合うコミュニケーション」と題して、記念講演が行われました。「コミュニケーションを図るうえで、KY(場の空気を良くすること)が大切であり、自らが行動を起こし、その場の人々を巻き込んでいくことが良い関係を作る秘訣。」と締めくくりました。

岩手県知事表彰 (社会福祉事業功労者 1名)

* 中川 真理子氏
多年にわたり民生委員・児童委員として社会福祉の増進に寄与し、社会福祉事業の推進による功績により、受賞されました。

* 高橋 正江氏
* 細川 ヒデ子氏
* 瀧沢 清氏
* 高橋 美代子氏
* 晴山 美代子氏
* 藤本 達也氏
* 岩持 斗季子氏
* 赤沢 範義氏
* 宮林 ふき子氏
* 千葉 喜久馬氏

岩手県民生委員児童委員協議会 会長表彰 (永年勤続民生委員・児童委員 10名)

7年の長きにわたり、民生委員・児童委員として社会福祉の増進に寄与し、社会福祉事業の推進による功績により、受賞されました。

第70回 岩手県社会福祉大会

「共に生き、共に支える福祉社会の実現を目指して」

平成29年11月1日(水)、第70回岩手県社会福祉大会が岩手県民会館大ホールで行われました。

当町からは岩手県社会福祉大会長表彰「社会福祉事業功労者」4名、「永年勤続功労者」3名の方々が受賞されました。

式典後、作家であり、NHKラジオ「すっぴん」のパーソナリティなどを務める高橋源一郎(たかはしげんいちろう)氏より、「助け合いの社会」と題して、記念講演が行われました。「弱さの思想・たそがれを抱きしめる」という著書を元にお話をされ、「自分の子供が急性脳炎となり、パニックになったが、この子



岩手県社会福祉大会の様子



の親は自分であり、他の人が変われるものではない。どんな状況になってもこの子と生きようと決心した。また、子育てを通して自分が子どもを守っていると、自らが勇気づけられていくことに気付いた。人は守られることを弱いと感じてしまうが、その弱さの中に本質的な強さがあるのだ。」と締めくくりました。講演後、受賞者並びに社会福祉関係者が、誰もが安心して暮らすことのできる福祉社会の実現に向けて、更なる研鑽を誓い合い閉会しました。

受賞おめでとうございます

岩手県社会福祉大会長表彰 社会福祉事業功労者

(民生委員・児童委員) 4名

15年以上の長きにわたり、民生委員・児童委員として社会福祉の増進に寄与し、社会福祉事業の推進による功績により、受賞されました。

* 町場 洋一氏 (和野)
* 小松 郁人氏 (極楽野、盆花)
* 桐山 貞夫氏 (六区、七区)
* 根澤 早苗氏 (片子沢)

岩手県社会福祉大会長表彰 永年勤続功労者

岩手県保育園保育士
* 常陸 晶子氏

38年の長きにわたり、幼児の保育・安全管理に努めるとともに、職員の育成に尽力した功績。

雫石保育園保育士
* 細川 美幸氏

37年の長きにわたり、幼児の保育・安全管理に努めるとともに、職員の育成に尽力した功績。

雫石保育園臨時保育士
* 築場 真知子氏

37年の長きにわたり、幼児の保育・安全管理に努めるとともに、職員の育成に尽力した功績。

11月2日（木）にぞう組のストープから火災が発生した想定のもと、総合避難訓練を行いました。非常ベルの音と「火事だ！」の声でホールへ行きました。中ズックや防災頭巾を着用し、災害時の約束「お・は・し・も」を意識しながら西山グラウンドへ避難をしました。

毎月の訓練を通して、一人一人が災害時に関する知識や態度を身につけ、命の大切さを伝えていきます。



煙が充満した部屋のなかをみんなで歩きました！



災害時の
「お・は・し・も」の約束

- お … 「押さない」
- は … 「走らない」
- し … 「静かに」
- も … 「戻らない」



救急車の車内を探検中～



消防車の仕組みを聞く姿は真剣です！

平成29年度赤い羽根共同募金運動

報告

平成29年度赤い羽根共同募金
法人等職域募金実績

法人募金	(単位：円)
法人名	金額
岩井建設(株) 様	10,000 円
岩手大崎電気(株) 様	10,000 円
小岩井農牧(株)小岩井農場 様	10,000 円
盛岡セイコー工業(株) 様	10,000 円
(株)しずくいし 様	5,000 円
雫石プリンスホテル 様	5,000 円
新岩手農業協同組合雫石支所 様	5,000 円
(株)中村建設 様	5,000 円
松ぼっくり 様	5,000 円
ホテル加賀助 様	5,000 円
長栄館 様	3,000 円
雫石タクシー(有) 様	3,000 円
合 計	76,000 円

職域募金	
法人名	金額
雫石町役場職員一同 様	39,414 円
合 計	39,414 円

法人募金計	76,000 円
職域募金計	39,414 円
行政区募金計	2,259,905 円
合 計	2,375,319 円

～自分の町を良くするしくみ～

総額 **2,375,319円**

(平成29年11月9日現在：4,529世帯)

皆さんのご協力ありがとうございます。

10月1日より「じぶんの町を良くするしくみ」をスローガンに赤い羽根共同募金運動を全国一斉に展開しております。

今年度も各行政区長さんを通じて、町民の皆様よりたくさんのご協力をいただきました。また、町内の企業等からも、たくさん募金を頂戴しております。

お寄せいただいた赤い羽根共同募金は全額、岩手県共同募金会へ送金され、より住み良い町づくりに役立つように、社会福祉施設や社会福祉団体、ボランティア団体等へ助成されます。たくさんのご協力本当にありがとうございます。

また、現在皆様よりご協力をお願いしております。歳末助け合い募金運動の結果につきましては、次号の社協だより内にてご報告いたします。皆様のあたたかい気持ちに深く感謝申し上げます。

一生活福祉資金のご案内一

生活福祉資金貸付制度は、他の貸付制度が利用できない低所得世帯や障がい者世帯などの経済的自立と生活の安定を目指し、国と県が資金を出し合い、無利子や低利子で貸付を行う制度です。

*生活福祉資金は、他制度優先です。(母子・父子・寡婦福祉資金制度や奨学金など)

◆利用方法

世帯の自立を目的としていますので、まずは相談により状況を詳しく伺います。今後の生活課題の改善に向けて話し合い、必要な資金の申請手続きを行います。その際に、地区の民生委員の意見も必要となります。

◆貸付利子・連帯保証人

- ・原則無利子（延滞利子：年5％）
- ・原則保証人を要しますが、立てられない場合は年1.5％の貸付利子となります。
- ・資金の種類により対象世帯、要件、貸付上限額、連帯保証人等が異なります。

◆資金の種類

- 総合支援資金：失業者等を対象に継続的な相談支援を行いながら生活費等を貸付
 - 福祉費：技能資格習得費用や住宅の補修費、障がい者のための車両購入費等の貸付
 - 緊急小口資金：緊急かつ一時的に世帯の生計維持が困難となる場合の生活費等の貸付
 - 教育支援資金：大学・短大・高校等の就学や入学に際して必要な経費の貸付
 - 不動産担保型生活資金：居住用不動産を担保とした生活資金の貸付
- * 原則として、「総合支援資金」「緊急小口資金」の利用には生活困窮者自立支援法に基づく自立相談支援事業（ふれあいランド岩手内にあります）等の利用が要件となります。

◆資金の交付

申請後、岩手県社会福祉協議会で審査され、貸付が決定したら公布されます。申請から交付まで1ヵ月程要しますので余裕をもってご予約の上、ご来訪ください。

問い合わせ 雫石町社会福祉協議会 ☎019－692－2230

まちの福祉

福祉に関する情報コーナー

今年も華やかに開催しました!! 第3回栗石町老人クラブ連合会福祉演芸大会

10月11日(水) 栗石町中央公民館にて「第3回栗石町老人クラブ連合会福祉演芸大会」が開催されました。当日は、各地区老人クラブから24演目、母子寡婦福祉協会から3演目、栗石町身体障害者福祉協会から1演目出演していただきました。華やかな踊りや三味線演奏など、日頃の練習の成果を披露し、観客席は、笑い感動に包まれました。まるで素人とは思えない程の華麗な芸に、会場にいる観客から笑いが絶えることなく、出演者の方々も終始満足げな表情を浮かべているようでした。

生憎の雨模様にも関わらず、たくさんの方々に来ていただき、「これを楽しみにしてた!」「本当に楽しかった。また来年も楽しみにしている。」など喜びの声が上がっていました。



今年も心を込めて作ります 一人暮らし老人昼食会 & 男厨会のコラボ

11月16日(木) 町内75歳以上の一人暮らし高齢者を対象とした「鶴の会」が「道の駅しずくいしあねっこ」で開催されました。

今年度3回目となる鶴の会では、恒例となりました「クラブ男厨会」の方々による愛情を込めた手作り弁当が参加者の方々に届けられました。年々、クラブ男厨会の料理の腕前が上達しており、参加者からは「男性の方がこんなに美味しいお弁当を作っているなんて!」「いつもこの時期を楽しみにしています。」など喜びの声があがっていました。



お弁当の華やかさに「わ~。本当に嬉しい」と喜びの声が上がっていました。

知って得する介護の技術!! 介護教室

もし、自分の家族が介護を必要としたとき、「どうしたらいいか」という不安や思いは皆さん一緒のよう

です。そこで、健康や介護に関する知識を深めることで、健康な生活を長く続け、実際介護に携わった時の介護者の負担軽減を目的に5月27日(土)から全6回コースで開催しています。介護教室では、介護のコツやお口の健康についてなどスグに役立つ情報満載の講義に参加者の皆さんも納得の表情でした。また、介護用具の使い方や簡単に寝ている人を起す方法を学んだ参加者からは「大変さが全然違う。こんな簡単にできるんだ。」と驚きの声が上がっていました。介護教室も残すところあと1回となっておりませんが、受講された皆さんには学んだことを普段の生活で活かしていただきたいと思ひます。



普段見ることのない介護グッズに興味津々の参加者の皆さん

今年も心を込めたお弁当をお届けしました!! 町民生委員女性部会「一人暮らし高齢者夕食サービス事業」

平成29年11月8日(水) 栗石町民生委員児童協議会女性部会主催の「一人暮らし高齢者夕食サービス事業」が実施され、239名の方々へ手作りのお弁当をお届けしました。

この事業は、町内在住の75歳以上の一人暮らしの方で夕食サービスの配達を希望された方を対象に、毎年取り組んでいます。

今年、栗石地区の女性部会員がお弁当の彩りや栄養バランスを考慮したメニューを作成し、前日の仕込み、食材等の発注までのすべてを行い、当日に、女性部会(28名)の会員が午前中から栗石中央公民館調理室へ集まり、調理を行い、夕方に町内各地区の民生委員が希望された



今年もみなであったかい正月を!! 歳末助け合いチャリティーショー

新たな年を迎える時期に、援助や支援を必要とする人たちが、地域で安心して暮らすことができるよう、町民の皆さんの協力をいただき、歳末助け合い募金運動を開催しております。また、今年度も歳末助け合い募金運動の一環として、「歳末助け合いチャリティーショー」を12月3日(日)に中央公民館野菊ホールで開催します。

今回のチャリティーショーでは、御所保育園の園児によるかわいらしいお遊戯発表をはじめ、町内福祉関係団体による工夫をこらした演芸が披露されます。

また、恒例となりました中川愛子社中による大笑いの歌謡ショーや、昨年度からの企画として町内団体に



栗石町議会議員をはじめ、たくさんの団体が出演します。



恒例となった中川愛子社中の笑いあり・涙ありの歌謡ショーも開催します。



今年も会場内で、募金活動を行います。皆さんのご協力をお願いします。

よるパフォーマンスも開催します。ので、ぜひお見逃しなく。

このほかにも、町内の企業や町民の皆さんからいただいた物品を販売するチャリティーバザーや会場での募金活動も開催します。バザーでの商品はどれも、普段より安いお買い得値での販売となりますので、こちらもぜひご覧ください。

今回のチャリティーショーでのチケット代金やバザーの売り上げ、会場での募金などの益金は、歳末助け合い募金運動の義援金として、栗石町共同募金委員会に贈呈されます。チケットは、町内各地区公民館、総合福祉センターにて絶賛販売中です。皆様のご協力よろしくお願いします。

このひとに聞く!

ふ だんの く らしの し あわせ

こちらは町内の方に福祉について考えていること
感じていることをインタビューするコーナーです



しょうじ むつと し 庄司 六十四さん (70歳・林崎)

プロフィール

生まれは二戸市。自然豊かで人柄の良い
栗石に魅了され17年前より移住。現在は
林崎公民館館長や砂防ボランティアとし
て活動している。休日は、夏にはソフト
ボール、冬はスキーや10年ほど前から始
めたスノーボードを楽しんでいる。

●地域活動を始めたきっかけは?

栗石町に移住して17年にな
りますが、最初は地域にすぐ
馴染むことができませんでし
た。壮年ソフトボールに誘われ
て参加したことがきっかけで、
地域の方々と仲良くなり、触
れ合うきっかけとなりました。

現在は林崎公民館長を務め
ており、行政区の行事にも出
来る限り参加しています。

林崎にはMEGAという若
い人のボランティアグループが
あり、何か相談事があれば声
をかけてくれます。そういう時
は出来る限り参加し、一緒に地
域の為に出来ることを考えて

います。地域づくり会議への出席や、町地
域コミュニティ組織連絡協議会にも参加
させていただき、代表の方々と話をする
ようになって、栗石はこういう地域なんだ
と分かり始めてきたところです。

●栗石はどんな町になってほしい?

まだ林崎行政区のことしか知らない
ですが、子どもとお年寄りが安心して暮
らせる場所であってほしいです。林崎では
一人暮らしの高齢者の方が多いように感
じます。地域では民生委員さんが見守っ
てくれています。二人では大変な仕事で
す。やはり、地域の皆で見守ることが大
切だと思っています。行政区で老人クラ
ブや若い人たちが何か活動しようとい
う想いがあるだけで、すごく嬉しいん
です。人の意識改革は何年もかかること
ですが、出来ることから少しずつ、少しづ
つ活動していきたいと思っています。

社協行事予定

11月

25日(土) 介護教室
西山保育園おゆうぎ会

29日(水) よろず相談

12月

3日(日) 歳末助け合いチャリ
ティーショー

6日(水) 町老連輪投げ大会

15日(金) スノーバスターズ総会

27日(水) 総合相談所

1月

6日(土) 雪んこ見守り隊巡回訪問
(6日(土)出陣式、13日(土)、20日(土)、
27日(土)も実施)

14日(日) 第41回栗石町社会福祉大会
新年交賀会

31日(水) よろず相談

2月

3日(土) 雪んこ見守り隊巡回訪問
(10日(土)、17日(土)、24日(土)も実施)

15日(木) 一人暮らし老人昼食会

16日(金) 在宅介護者の集い

18日(日) 福祉の合同職場説明会

28日(水) 総合相談所

*事情により、変更になることもあ
ります。予めご了承ください。

編集後記

今年も残すところあと1か
月となり、月日が経つのは早
いものだと思惑しております。
今年も多くの方々に、たくさ
んのご協力をいただきました。
本当にありがとうございます。
少し早いご挨拶となります
が、来年度も社協職員一同、
地域に愛される社協を目指し
て頑張りますので、今後とも
よろしくお願い致します。(村)



寄付金

○中川 愛子 様

100,000円

(町内に住む方の福祉増進に
繋がる事業のために)

○匿名希望

切手 総額6,164円

やさしいまごころを
ありがとうございます

(平成29年7月から10月までの間
に、寄せられた寄付についてお知
らせいたします。)

○栗石町社協だより

●平成29年(2017年)11月22日

第84号

発行/栗石町社会福祉協議会

F020-0541 岩手県岩手郡栗石町千刈田82番地2

TEL: 019-692-2230 FAX: 019-691-1140
e-mail: shizuku-shakyo@shisha.or.jp
ホームページ: http://www.shisha.or.jp